



# NT倍率上昇の意味を考える

2019年4月24日

## NT倍率が上昇

4月に入ってからTOPIXに比べて日経平均株価のパフォーマンスが優位になっている。【図表1】日経平均株価は心理的節目の22,000円を上げたが、TOPIXは2月下旬以降のレンジ上限を抜けきれていない。結果として、日経平均株価をTOPIXで割った「NT倍率」は13.7倍と1992年以来の水準まで上昇している。

## 連休を控えて個別株への買いが低調

日経平均株価が上昇しているのは、中国や米国などの景気に対する懸念の後退で、世界的な株価上昇に引っ張られている側面が強いと考えられる。対照的に、TOPIXの上値が重いのは、個別銘柄への物色が広がっていないことを示唆している。信用倍率が直近で2.3倍と、アベノミクス開始以降の最低水準で推移していることから、個別株への買いが盛り上がっていないことがうかがえる。

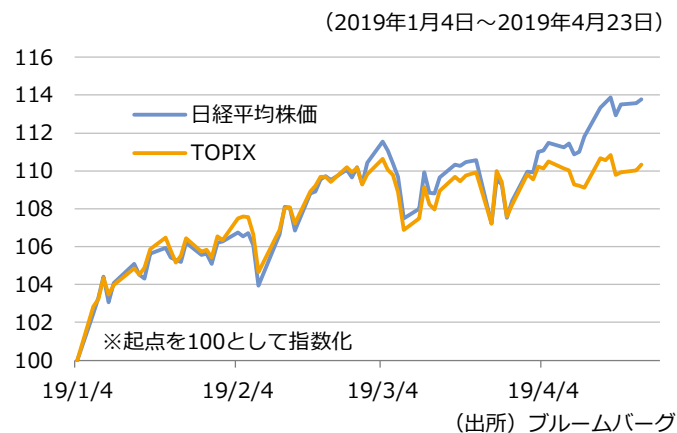
### 【図表2】

一因として、「日本株全体としては先高期待はあるが、個別株を保有したまま10連休を迎えるのはリスクが大きい。」という投資家心理があると思われる。この仮説が正しければ、10連休明けには個別株への物色が広がり、TOPIXの出遅れがある程度は修正されるシナリオが期待できるだろう。

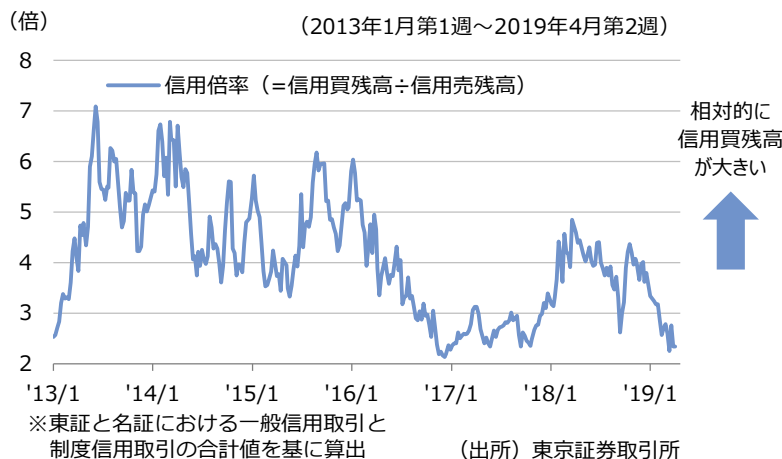
## 決算発表次第でさらなる戻りも

そして、個別株物色の強さを左右するのが、10連休前後に集中している1-3月期決算発表ということになる。【図表3】この半年近くで業績見通しの市場コンセンサスは相応に下方修正が進んでおり、事前の期待値は低い。海外経済の見通しが好転している足元の状況に加えて、「思ったほど悪くない」決算であれば、日本株全体としても一段と上値を試す展開が期待できよう。

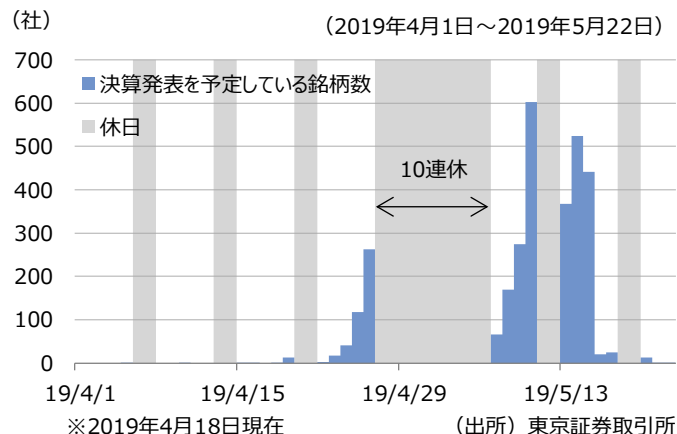
図表1 日経平均株価とTOPIX



図表2 日本株の信用倍率



図表3 東証上場銘柄の1-3月期決算発表スケジュール



## 投資信託のご購入に際し、お客さまにご理解いただきたいこと

お客さまが投資信託をご購入する際には、以下の2つの注意点を十分ご理解いただいた上で、当該投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」を必ずご覧いただき、ご自身の判断で投資に関する最終決定をなさるようお願いいたします。

### 注意点① お客さまにご負担いただく費用について

	種類	料率 (税込)	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的にご負担いただく費用	購入時手数料	0~3.24% (税抜3.0%)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、 <b>最大32,400円</b> をご負担いただけます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、 <b>最大5,000円</b> をご負担いただけます。
信託財産で間接的にご負担いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~2.5528%	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、 <b>最大1日あたり約70円</b> をご負担いただけます。
	その他の費用・手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただけます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は**大和投資信託**が運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。投資信託によっては換金手数料をご負担いただく場合があります。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### 注意点② 投資信託のリスクについて

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

設定・運用は…

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和証券投資信託委託株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号

加入協会 一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

■当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

■当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。